

7月5日時点 速報版

九州地方整備局・気象台 合同記者会見

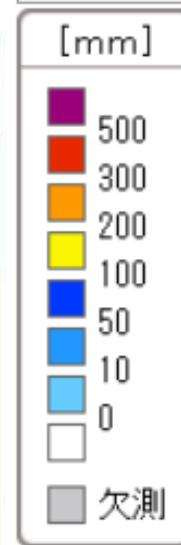
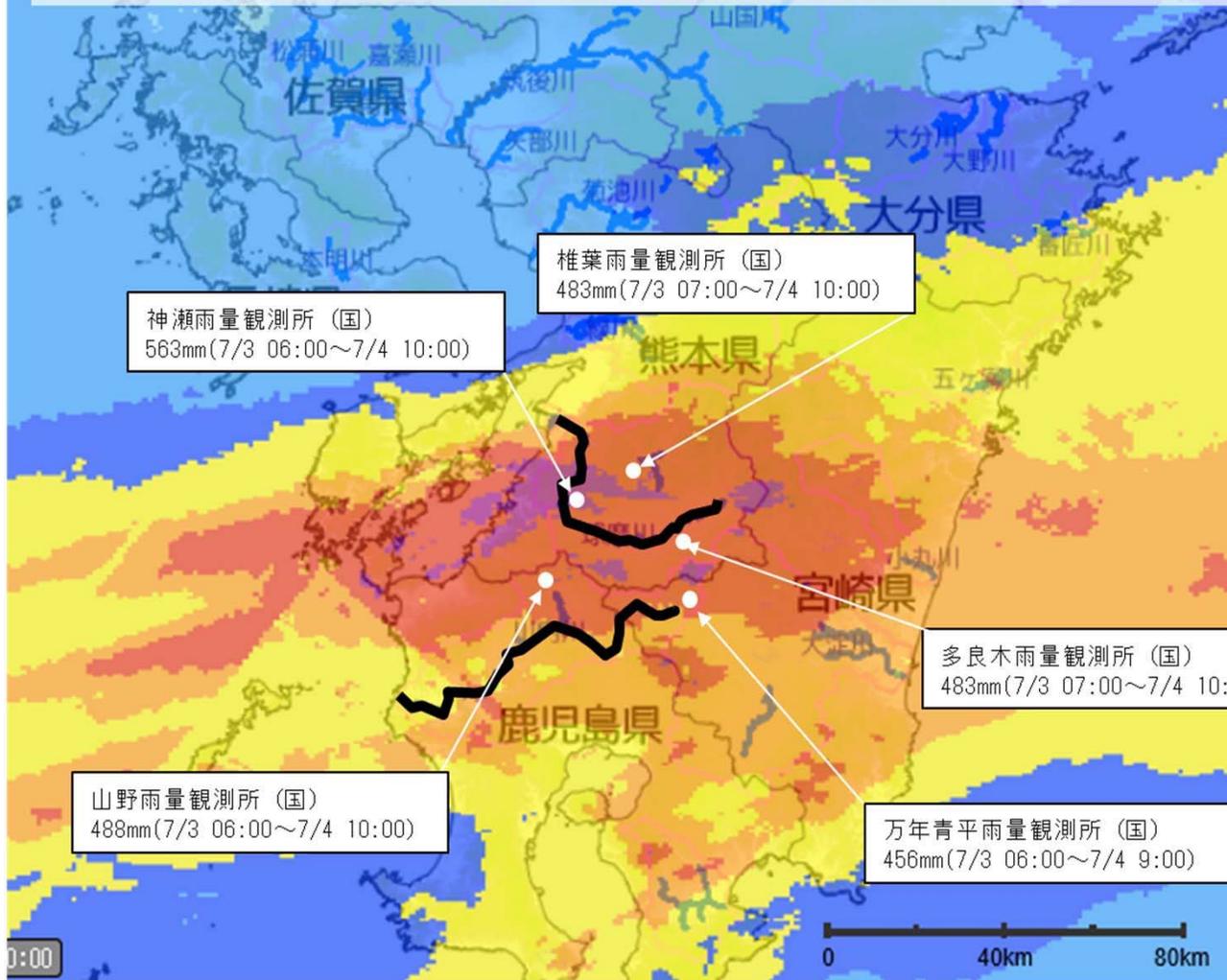
九州地方整備局
令和2年7月5日

1. 気象・降雨の概要

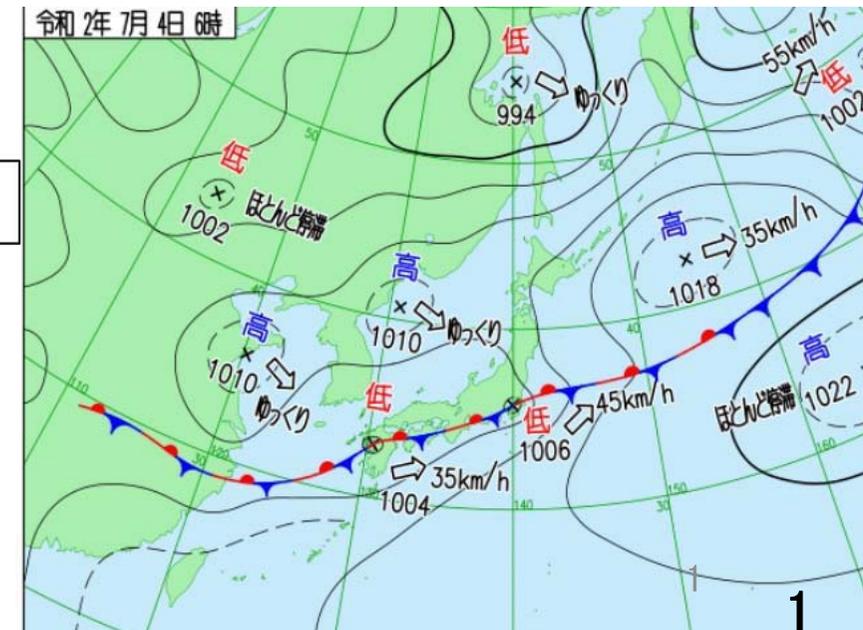
○7月3日（金）から4日（土）にかけて、梅雨前線の活発な活動により九州南部の広範囲に強い雨域がかかり、**多くの雨量観測所で観測史上最多の日雨量を観測する記録的な大雨**となりました。

7/3 6:00~7/4 10:00累積レーダ雨量

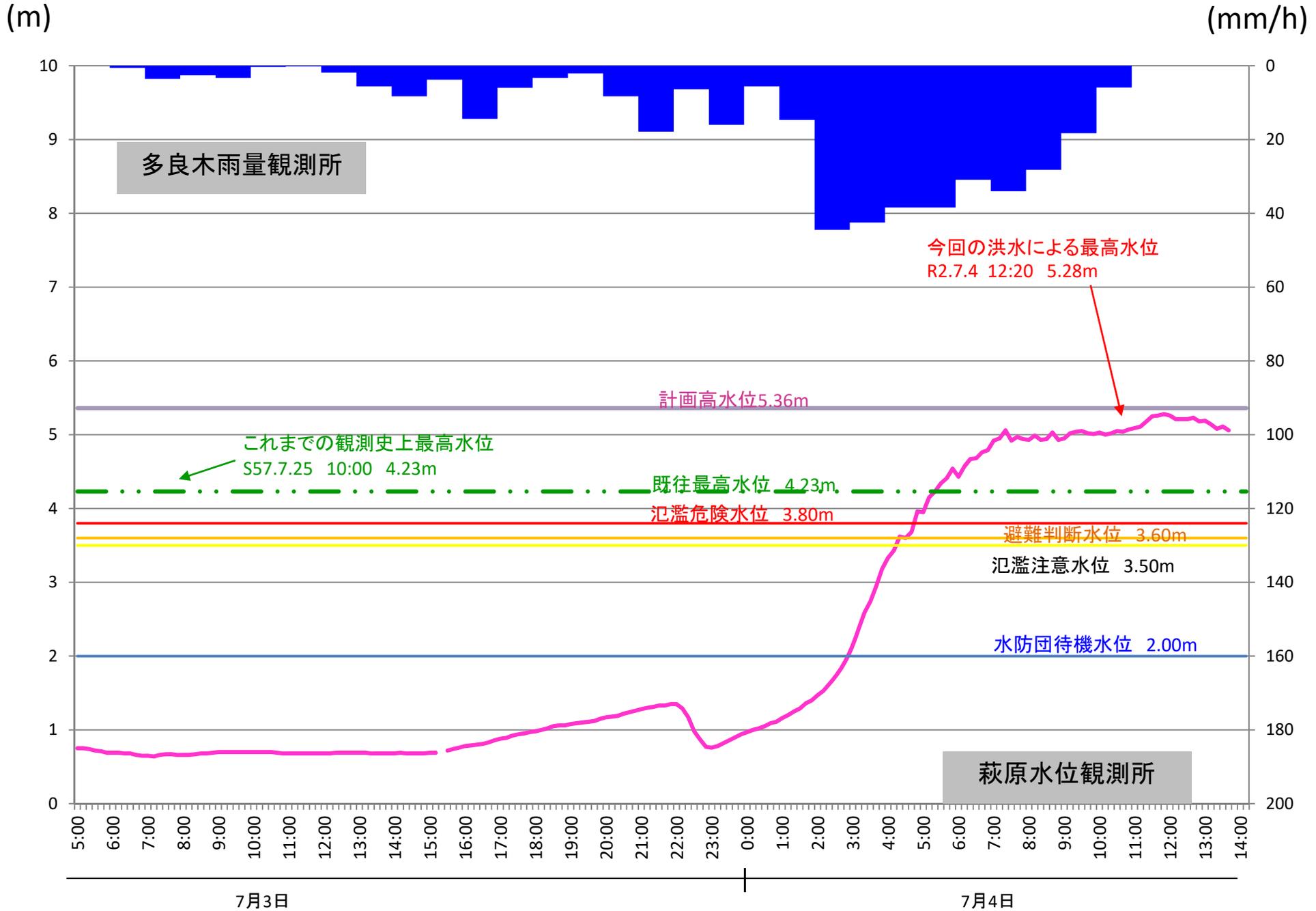
(統一河川情報システムより作成した図を加工し、氾濫危険水位を超過した水系を黒色標記)



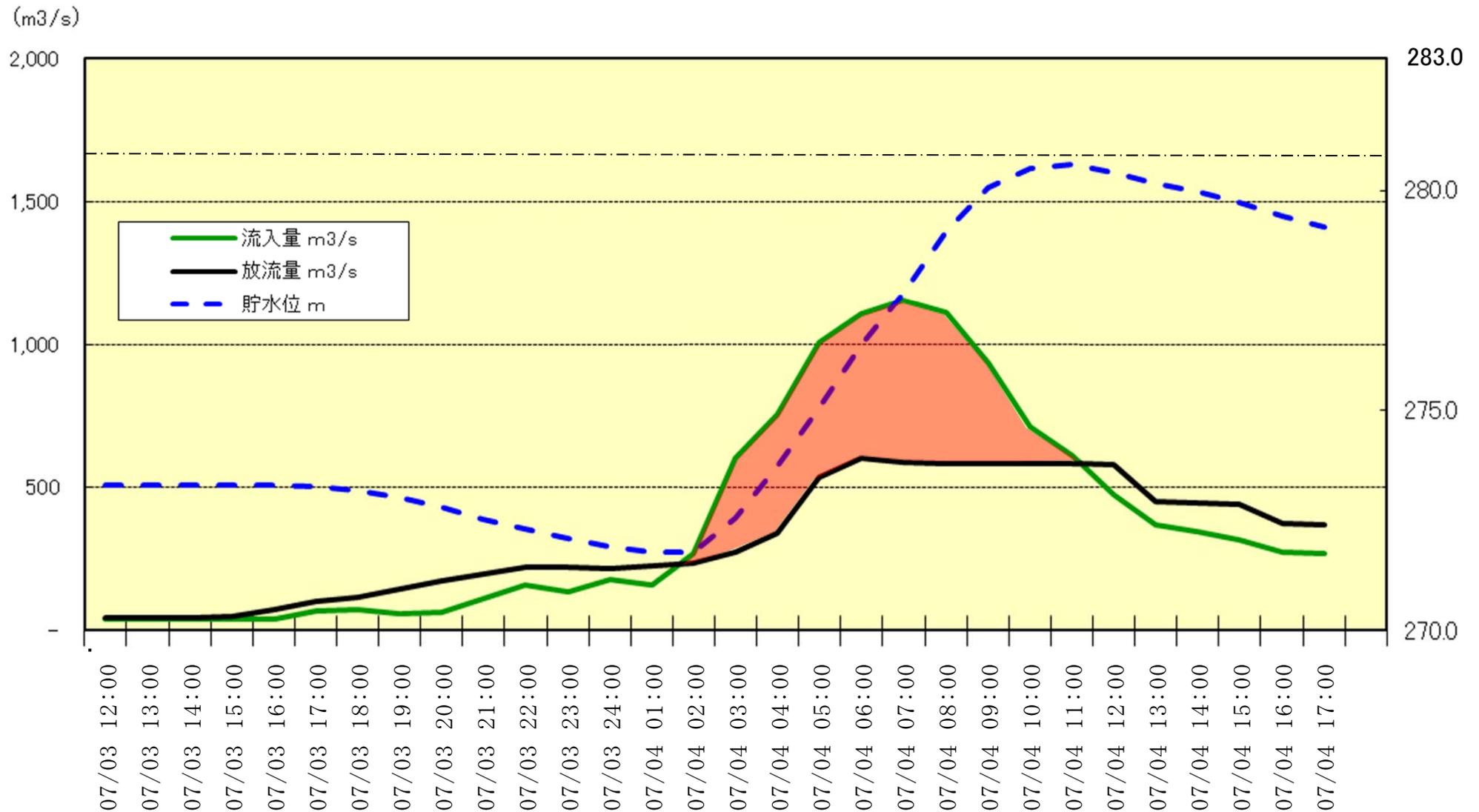
天気図 (7月4日 6時頃 気象庁HPより)



2. 水位の状況



3. 市房ダムの調節について（令和2年7月3～4日）

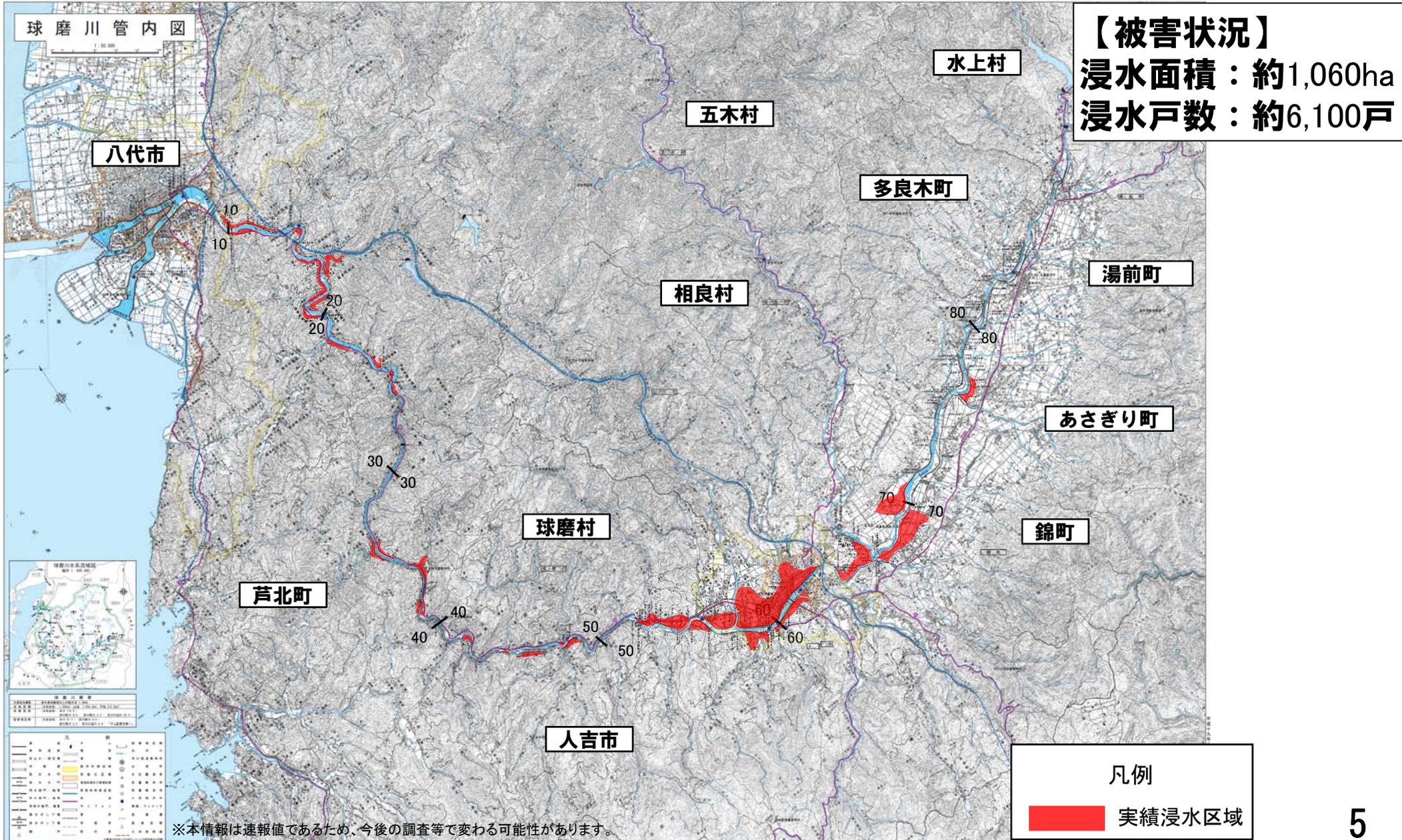


「川の防災情報」より

4. 浸水の状況(球磨川流域)

○防災ヘリ「はるかぜ号」による上空からの調査により、球磨川水系において、浸水面積約1,060ha、浸水戸数約6,100戸の被害が発生していることを推定。

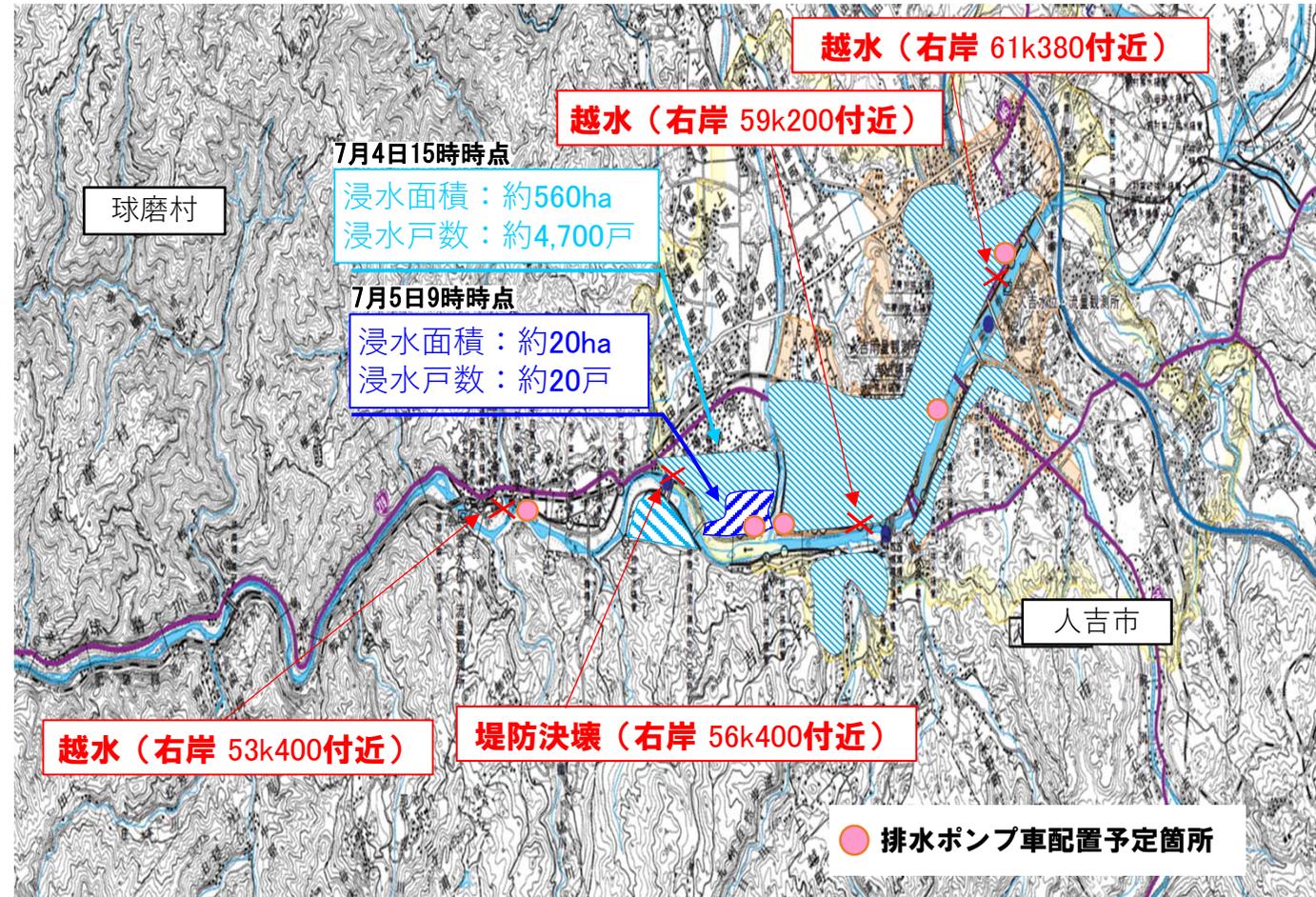
7月5日時点 国土交通省調べ



5. 浸水の状況（熊本県人吉市）

○人吉市では約450ha、約3,700戸が浸水するなど、浸水範囲が大きくなっており、排水作業を行うためのポンプ車（60m³/分を2台、30m³/分を3台の計5台）を人吉市街地に配置準備中。

球磨川水系（熊本県人吉市）における浸水状況



※本情報は速報値であるため、今後の調査等で変わる可能性があります。



人吉市街部（五日町交差点）
浸水状況（7月4日午前）



排水ポンプ車による排水作業（7月5日未明）

被災状況



撮影日2020.7.4 16時00分頃

7/4(土)23:00着手

緊急復旧状況

緊急復旧状況



2020.07.05 10時00分頃
根固搬入

緊急復旧状況



撮影日2020.7.5 5時00分頃



2020.07.05 13時00分頃
根固投入

(参考)過去の水害に関する資料

○昭和40年7月出水（戦後最大の洪水）

・梅雨前線の停滞により、6月28日頃から丸4日に渡る長雨となり、球磨川流域で相当量の降雨を記録した。その後、前線の活動が活発になり、7月2日深夜から7月3日早朝にかけての集中豪雨により、上流から下流に至るまで、ほぼ全川的に甚大な浸水被害が発生した。



人吉市九日町の浸水状況



人吉市青井町の浸水状況

被害の概要（戸）			最大流量(m ³ /s)	
家屋損壊・流出	床上浸水	床下浸水	人吉	横石
1,281	2,751	10,074	約5,700	約7,800

○昭和57年7月洪水（戦後第2位の洪水）

・人吉市街部は引堤や特殊堤による整備がほぼ完了していたが、これを越えて氾濫。被害は、人吉市及び中流部(球磨村、坂本村(現八代市)、芦北町)を中心に発生。



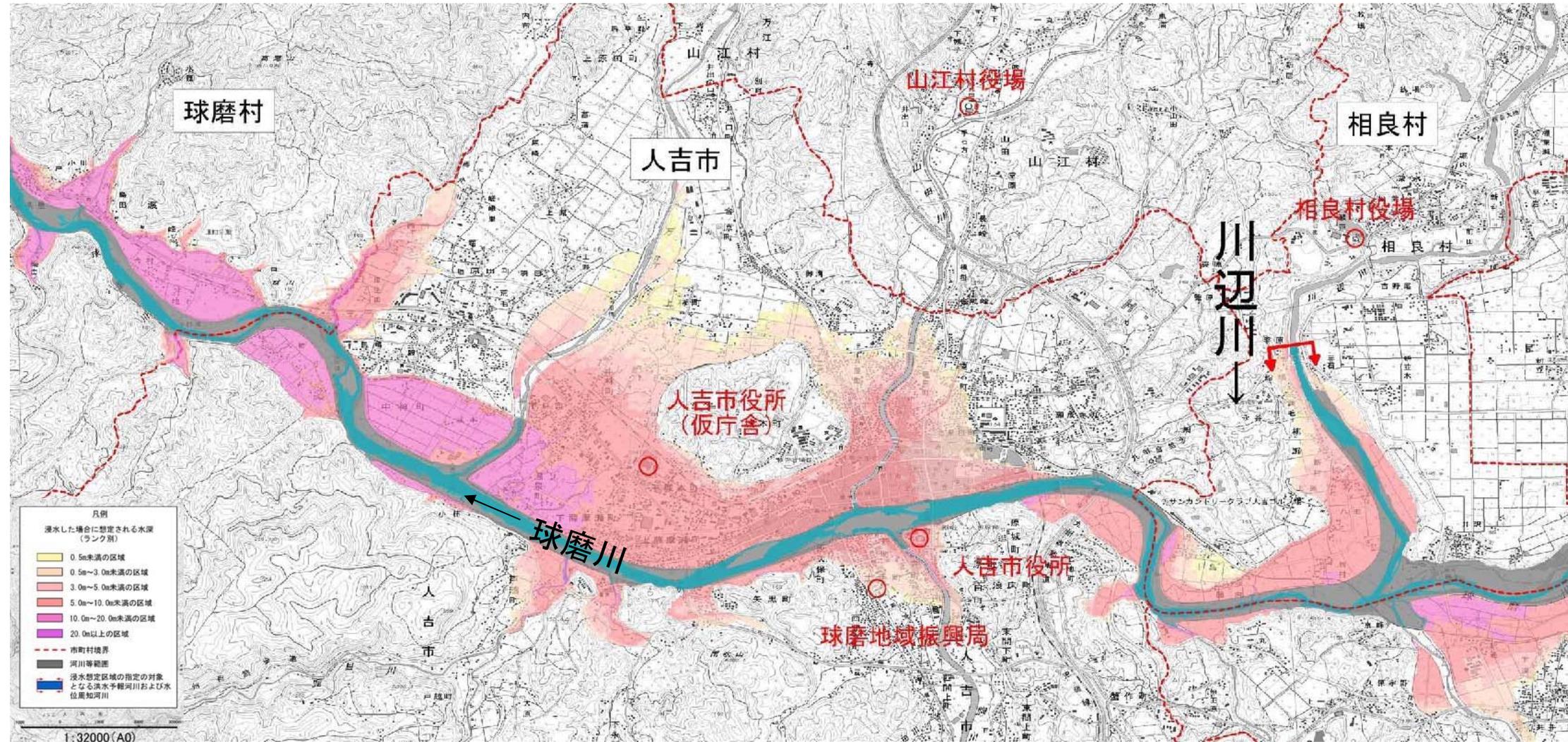
人吉市相良町の浸水状況



人吉市宝来町の浸水状況

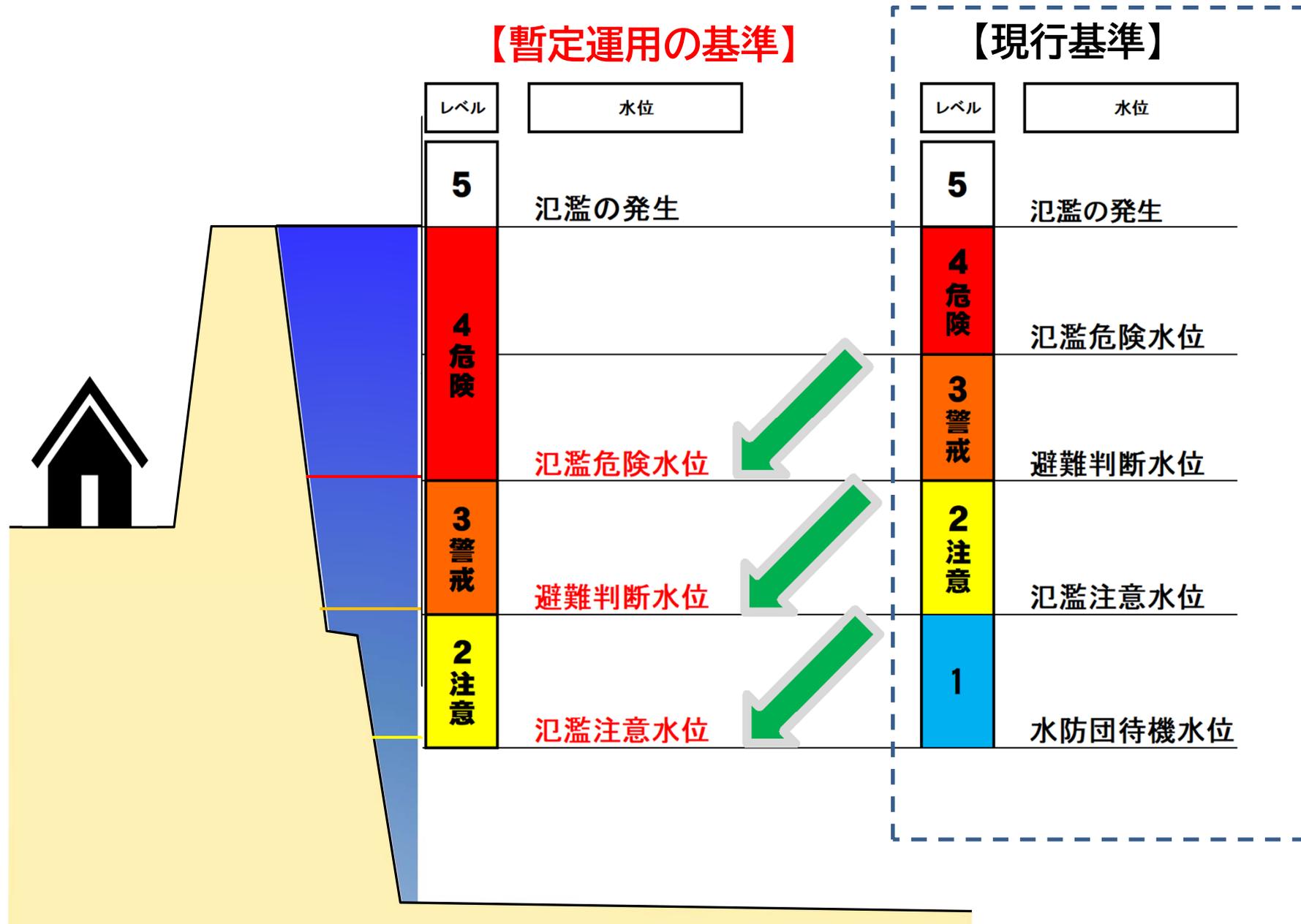
被害の概要（戸）			最大流量(m ³ /s)	
家屋損壊・流出	床上浸水	床下浸水	人吉	横石
47	1,113	4,044	約5,500	約7,100

(参考) 浸水想定図(想定最大規模)



(参考) 基準水位の暫定運用イメージ

今回の出水を鑑み、球磨川洪水予報の基準水位を通常より引き下げて運用し、早期の警戒体制を確立します。



土砂災害が発生した箇所では以下の点が懸念
 ○水路等が土砂により埋没した場合、その後の豪雨時に泥水が避難路に氾濫してしまい、通常より避難行動が困難となる
 ○溪床等に不安定土砂が堆積している場合、通常よりも少量の雨で土砂災害が発生
 →避難のための時間を十分に確保することが必要



今後の豪雨等に備え、必要に応じて、避難勧告等の発令基準を「土砂災害警戒情報」から「大雨警報(土砂災害)」に一段階早めた暫定運用を実施する。(熊本県へ技術的助言)

【暫定運用のイメージ】

防災気象情報	発令基準	
	通常運用	暫定運用
土砂災害警戒情報	避難勧告	避難指示(緊急)
大雨警報(土砂災害)	避難準備・高齢者等避難開始	避難勧告
大雨注意報		避難準備・高齢者等避難開始

【暫定基準運用終了の考え方について】

埋没した水路等の流路確保、応急対策の完了、土砂災害に関するメッシュ情報において危険度が高まった後に被害が無いこと等を確認後に終了する。